

明星



<http://www.kameyama.mie.jp/kblog/shirakawa/>

kblog/shirakawa/

亀山市立白川小学校 第26号

令和5年12月15日（文責：平野）

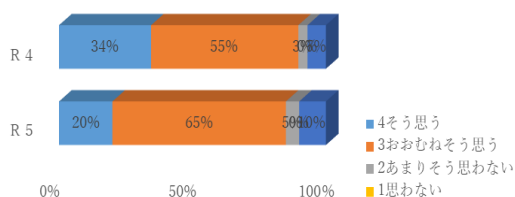
「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

☆学校の重点目標等アンケート、生活習慣アンケートのご協力ありがとうございました☆

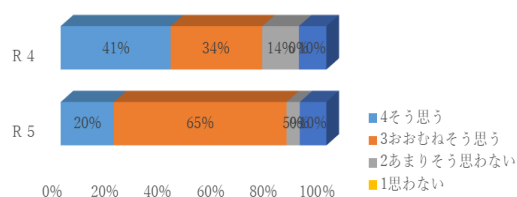
「学校の重点目標等アンケート」「生活習慣アンケート」のご協力ありがとうございました。結果について校内で分析を行い、学校運営協議会でも協議しながら今後の学校運営に反映させていただきます。以下にアンケートの結果の一部を紹介させていただきます。

＜学校の重点目標等アンケートより＞

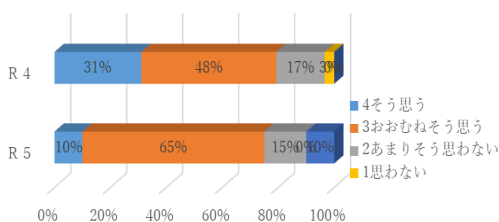
問1 学校は、子どもがめあてを知り、見通しをもって学習し、友だちと話し合う中で学習を深める姿勢を育んでいる。



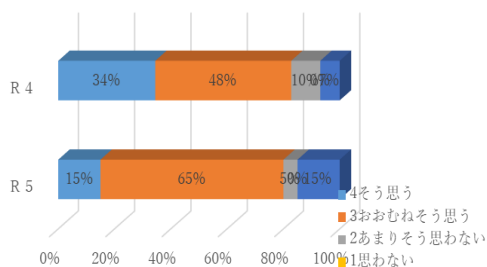
問2 学校は、書く活動を重視して、ふりかえりを大切に、次への学びを追求する姿勢を育んでいる。



問5 学校は学習習慣の確立のために、「家庭学習の手引き」を作成し家庭学習の習慣を身につけさせている。

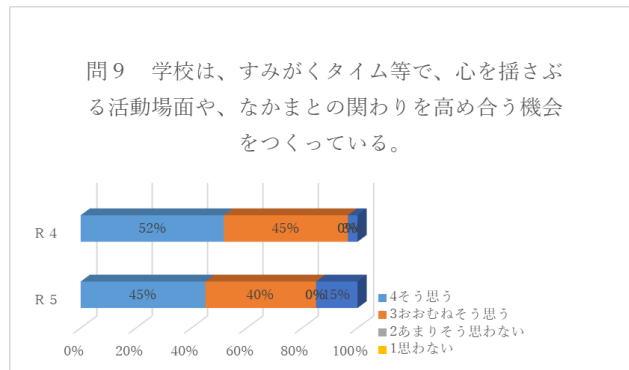
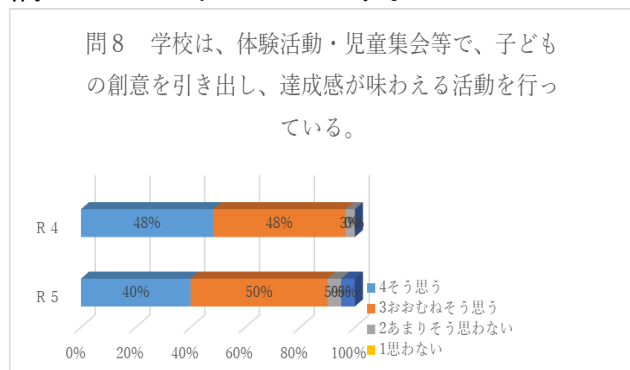


問6 学校は、児童の実態を把握し、学習指導に活かしている。



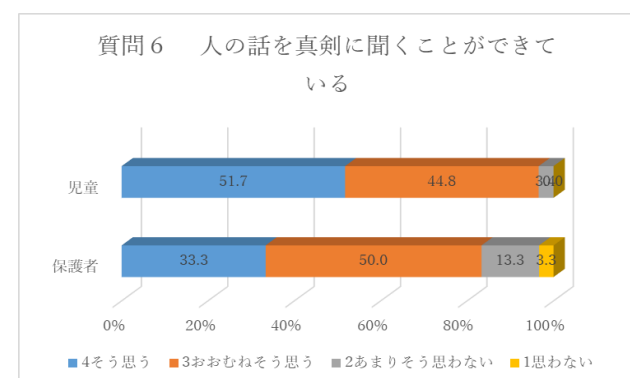
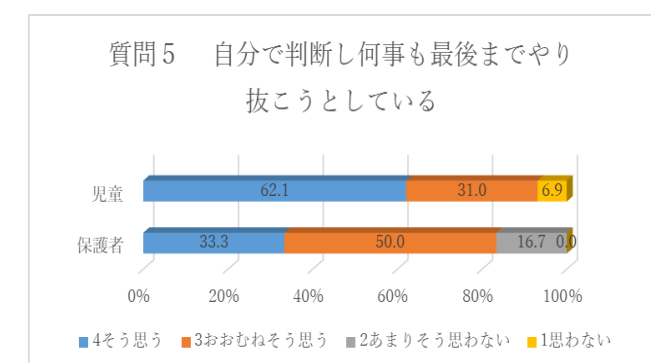
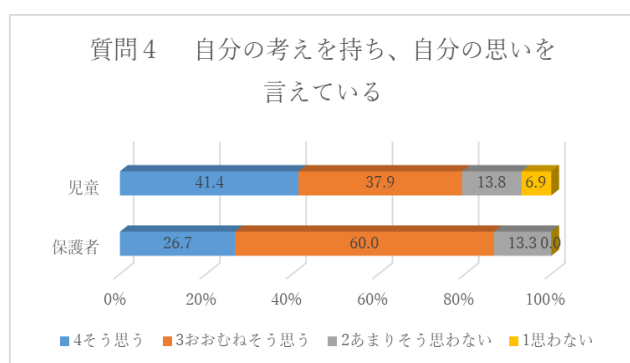
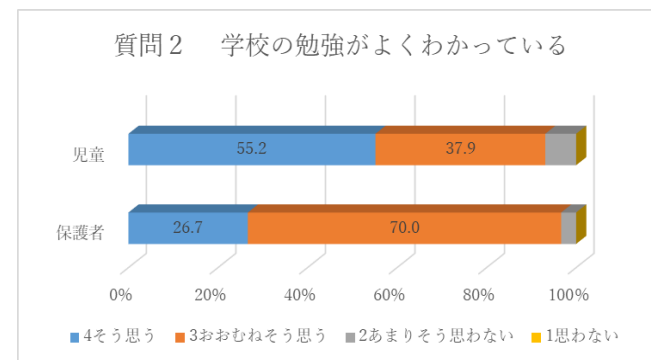
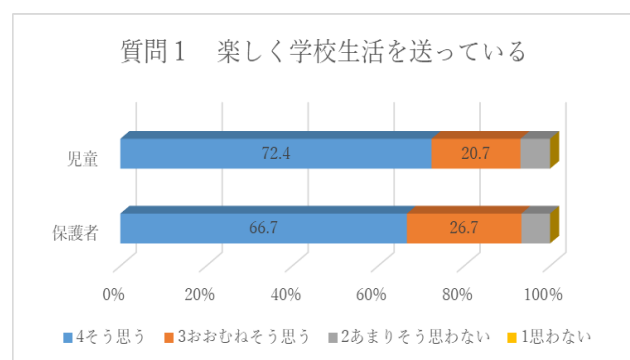
保護者様からの「授業」についてのご意見としては、授業の「めあて」の提示「ふりかえり」を書くことについて、また児童の実態に合った学習指導について、トップアンサーが昨年度よりマイナスとなっています。適切な「めあて」の提示と授業ごとのふりかえり活動や、ふりかえりとして児童が書いた内容の点検など丁寧に進める必要があると考えています。また、「わたり」の授業を含めた少人数を生かした子どもの実態に応じた授業展開の工夫を今後も進めていきます。自由記述では、「わたり」の授業について、「子どもたちが全体で話し合う場面も大切にしてほしい」とのご意見もいただいております。家庭学習の習慣を身に付けるための指導については、(問

5)、今後は「家庭学習のてびき」だけでなく、「すくすくチャレンジ」の活用や、学習時間・ゲーム時間等の点検ツールとして毎週持ち帰るタブレットが活用できないか検討したいと考えています。



地域の皆様にお世話になっている体験活動や、「すみがく」などの全校人権学習は、昨年度に引き続いて高い評価をいただいております。地域の皆様におかれましては今後ご支援をたまわりますよう、お願いいたします。

<学校生活アンケートより>



令和5年度の児童と保護者の同一質問の結果の一部です。なお、児童においては、これら5つの質問のトップアンサーは、全て令和4年度より肯定的に意見が向上する結果となりました。体験学習等の充実の結果の表れではないかと分析をしています。